

大阪PCB処理事業所における処理計画について

JESCOでは、PCB廃棄物を期限内に確実に処理するため、処理計画を作成しています。今回、令和2年12月末時点での処理対象量を基に見直しを行いました。

大阪PCB処理事業所における同計画は以下のとおりです。

1. 処理対象PCB廃棄物

令和2年度以降の処理対象量は次のとおりです。

(1) 大阪事業エリアの処理対象物

対象エリアである近畿2府4県のPCB廃棄物が対象

- ① 大型トランス 8台
- ② 小型トランス 31台
- ③ コンデンサ 6,752台
- ④ PCB油 889本

(2) 大阪事業エリア外の処理対象物

北海道、豊田事業エリア内の一部のPCB廃棄物が対象

- ① 特殊コンデンサ（北海道事業エリア） 0台
- ② 特殊コンデンサ（豊田事業エリア） 2台

2. 処理進捗状況及び処理計画

(1) 処理進捗状況

大阪PCB処理事業所において、令和2年12月末現在でトランス99.2%、コンデンサ96.5%、廃PCB等（PCB油）89.5%の処理が完了しています。

(2) 年度毎の処理計画

大阪事業エリアの処理対象物の処理進捗状況及び新規登録状況を踏まえ、施設の安全安定操業を確保しながら、計画的処理完了期限である令和3年度末迄に処理を完了させます。年度毎の処理計画は（表-1）のとおりです。

トランス類の（ ）内の数値は、現地で取り外されたフランジやバルブ等のトランスの一部が残っている台数で内数です。

表-1 大阪PCB処理事業所における処理計画

区分		令和1年度 末累計(a)	令和2年度 以降処理量(b)	令和2年度	令和3年度	総計(a+b)
トランス類 (台)	大型トランス	290	8 (6)	6 (6)	2	298
		290	8 (6)	8 (6)	0	298
	小型トランス	2,302	31 (11)	31 (11)	0	2,333
		2,302	24	24	0	2,326
車 載	大阪エリア	93	0	0	0	93
	豊田エリア	30	0	0	0	30
コンデンサ類 (台)	コンデンサ	76,127	6,752	4,652	2,100	82,879
	76,127	4,512	4,472	40	80,639	
	特殊コンデンサ (北海道エリアから)	70	0	0	0	70
	特殊コンデンサ (豊田エリアから)	121	2	2	0	123
PPコンデンサ(台)	豊田事業所で処理	4,987	0	0	0	4,987
その他	PCB油(本)*	1,871	889	482	407	2,760
		1,871	795	445	350	2,666

* 上下段で記載しているトランス、コンデンサ、PCB油は、下段は前回事業部会で説明した台数。